岩手県立生涯学習推進センター

研修実施報告 Web版

実 施 日：令和２年11月12日（木）
実施場所：久慈市中央市民センター
受講者数：16名

人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（県北地区）

本講座は、地域がつながり協働で行う事業・学習プログラムについて先進事例からその手法と意義を学ぶことを目的に開催いたしました。学校支援地域コーディネーター、公民館・地区センター等の生涯学習関係職員 16 名の方に受講いただきました。

職 員 研 修
有志指導者研修
要 請 研 修

【実践発表】「地域がつながる事業・学習プログラム」

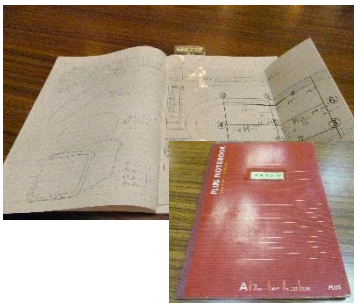
三陸ひとつなぎ自然学校
子ども事業ディレクター・理事
柏﨑 未来 氏

三陸ひとつなぎ自然学校　子ども事業ディレクター・理事柏﨑未来氏からは、「くりりんの森プロジェクト」「かまっこまつり」「郷土料理伝承会」などの事例をもとに事業づくりで心がけていることをご発表いただきました。①課題や思いを共有し、一緒にやる②得意分野を活かした役割分担③地域の子どもと大人をつなぐ④鉄人（達人）は伝えるプロとは限らないことの4点を具体的にお話しいただきました。

久慈市立久慈湊小学校　学校支援地域コーディネーター中田悦子氏からは、着任当時は校内の物品整理から始めたが、そのことが校内の様子を把握することにつながったエピソードをご紹介いただきました。行政や地域の団体といかにしてつながったか、先生方とのコミュニケーションの取り方などをお伝えいただきました。現在は、学区内、市内の企業見学など新しい企画を提案なさっているそうです。

久慈市立久慈湊小学校
学校支援地域コーディネーター
中田 悦子 氏

【情報交流】「つながれば明日が見えてくる」



交換日記のような形で先生方のニーズを把握する連絡ノート

左の写真は、受講者からの「忙しい先生方とのコミュニケーションはどうしていますか」の問いに中田氏からご紹介いただいた先生とのコミュニケーション用のノートです。

情報交流では、４コマ自己紹介カードを用いて、距離を保ち、マスクをしながらでも伝わるように工夫しました。グループの他の人が質問をしていく形でその人の持つ情報を引き出し、互いに教え合う形で話が弾みました。

「４コマ自己紹介」と「参加者マップ」を作り、情報交流をする受講者

《受講者の声》

- 普段どうしたらいいのかと思っていることに関してお話していただけてありがたかった。
- 子どもたちが何をやりたいかを大事にしていこうと思った。コーディネーターの役割を再認識できた。
- 日常の活動では気が付くことができない視点をいただいた。今後に役立てたい。
- 先生とのコミュニケーションの取り方や地域と交流する際に大事なことを学ぶことができた。

《受講者の評価》

A（有意義）	73.3%
B（どちらかといえば有意義）	26.7%
C（どちらかといえば有意義でない）	0%
D（有意義でない）	0%

《担当者（八重樫）から》

久慈市中央市民センター様には急な会場変更にご協力をいただきました。換気をし過ぎて、寒い中で受講いただきましたが、熱い情報交流が行われたことに感謝したいと思います。貴重な実践をぜひ各所属で活かして頂きたいです。